

【福島県中島村】 校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、以下の取り組みや検討を行い、校務 DX を推進する。

1 FAX・押印の原則廃止

災害時や教育系ネットワークの不具合時など、FAX の方が効率的となる場合を除き、FAX の原則廃止に向けた業務の見直しや関係機関への働きかけを行う。

押印の原則廃止に向けては、業務の見直しを行い、関係規則の改正を行う。

2 校務系及び学習系ネットワークの統合

現在、本村における教育系ネットワークは、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と、児童生徒が学習活動で利用する「学習系」の2つに分離しており、相互にアクセス等ができない構成としている。今後は、ゼロトラストセキュリティの考え方を踏まえたセキュリティ対策を十分に講じた上で、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、先進自治体を参考にしながら、校務系・学習系ネットワーク統合と統合型校務支援システム導入について検討する。

3 教育情報セキュリティポリシーの策定

現在、本村教育委員会及び村立学校においては、中島村情報セキュリティポリシーを準用している。上記ゼロトラストセキュリティの実現を目指すにあたり、クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するため、教育情報セキュリティポリシーの策定を行う。

4 次世代型校務支援システムの導入検討

村立学校においては、令和4年度よりプライベートクラウド上で運用する統合型校務支援システムを利用している。校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に向け、業務手順の見直しを行う。

また、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入に向けた検討を行うため、情報収集を進める。